

平成 23 年度スキルアップ経費報告

—Android アプリケーション開発技能の習得—

電気電子情報系技術班 中川 輝彦

1. 背景・目的

iPad などのタブレット PC, iPhone や Xperia などのスマートフォンは現在飛躍的に台数を伸ばしている。これらの特徴は軽くて薄くて持ちやすいところ, タッチパネルで簡単に操作できる点にある。今回, Android 搭載のタブレット PC とプログラミング開発の参考書等を購入し, Android アプリケーション開発技能を習得する。

Android とは, Google 社などが提供する携帯端末向けのプラットフォームである。Linux ベースのオープンソースであるため, 各社から様々な端末が販売されており, 携帯端末向け OS シェアでは iPhone や iPad などに搭載されている Apple 社の iOS を上回る。また, アプリケーション開発環境も無償で公開されており, Java 言語で作成できるので誰でも手軽に開発できる。

2. 内容

2.1 購入物品

本経費によってタブレット PC Sony Tablet S (SGPT111JP/S) と対応アクセサリ, 参考書 2 冊を購入した。

2.2 Android アプリケーション開発環境

Android アプリケーションを開発するには, 以下の環境を構築する。

- Eclipse (他の統合開発環境ソフトでも可能だが, Eclipse が推奨されている)
- Java Development Kit
- Android SDK

2.3 Android アプリケーションの開発方法

Android アプリケーションを開発するには, おおまかに以下の手順にて行う。

- プロジェクトの作成
- プログラミング
- エミュレータと実機の確認
- デバックとログ解析

3. まとめ

今後, 大学においてもさまざまな場面でタブレット端末が用いられることが予想される。まずは簡単なアプリケーションを開発できる技能を習得することから始め, アプリケーションの開発や選定の依頼などに対応していきたい。

謝辞: 本経費の使用に関して, ご尽力いただいた関係各位に厚く御礼申し上げます。